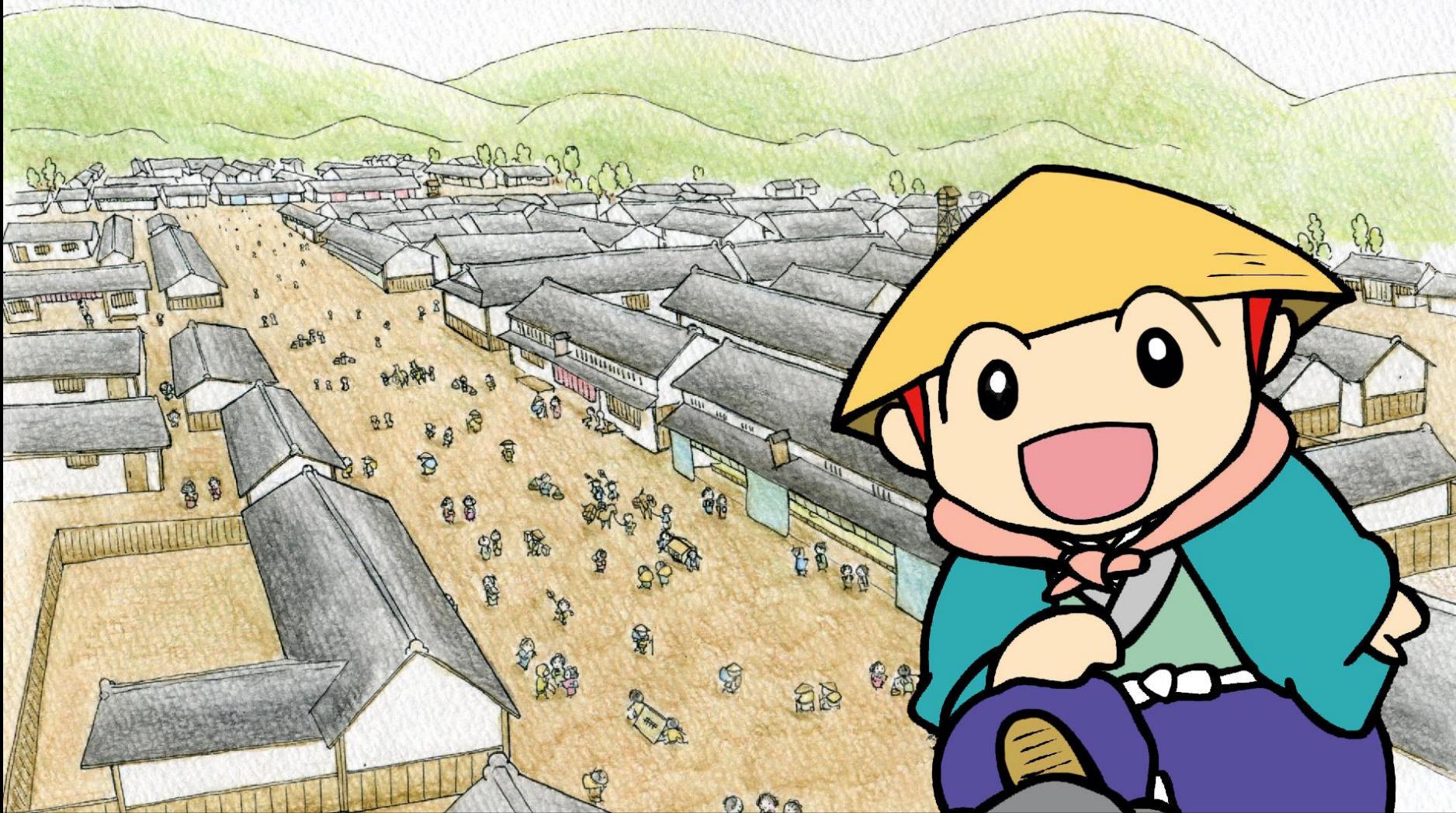


第8話 たび丸、ふたたび故郷に帰る





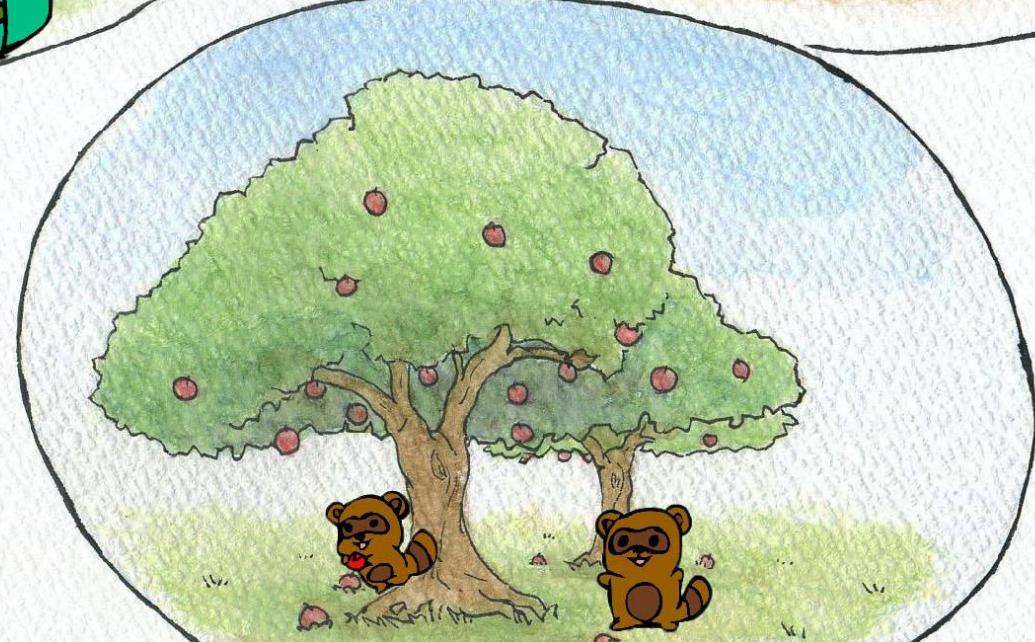
はやいものだ。
草津のまちを旅立ってから早や 10 年。



みんな元気にしているだろうか。



まずは殿様に帰着の報告にうかがうことにするか。
でもその前にちょっとくら寄り道していこうかな。





兄さん、お帰り。



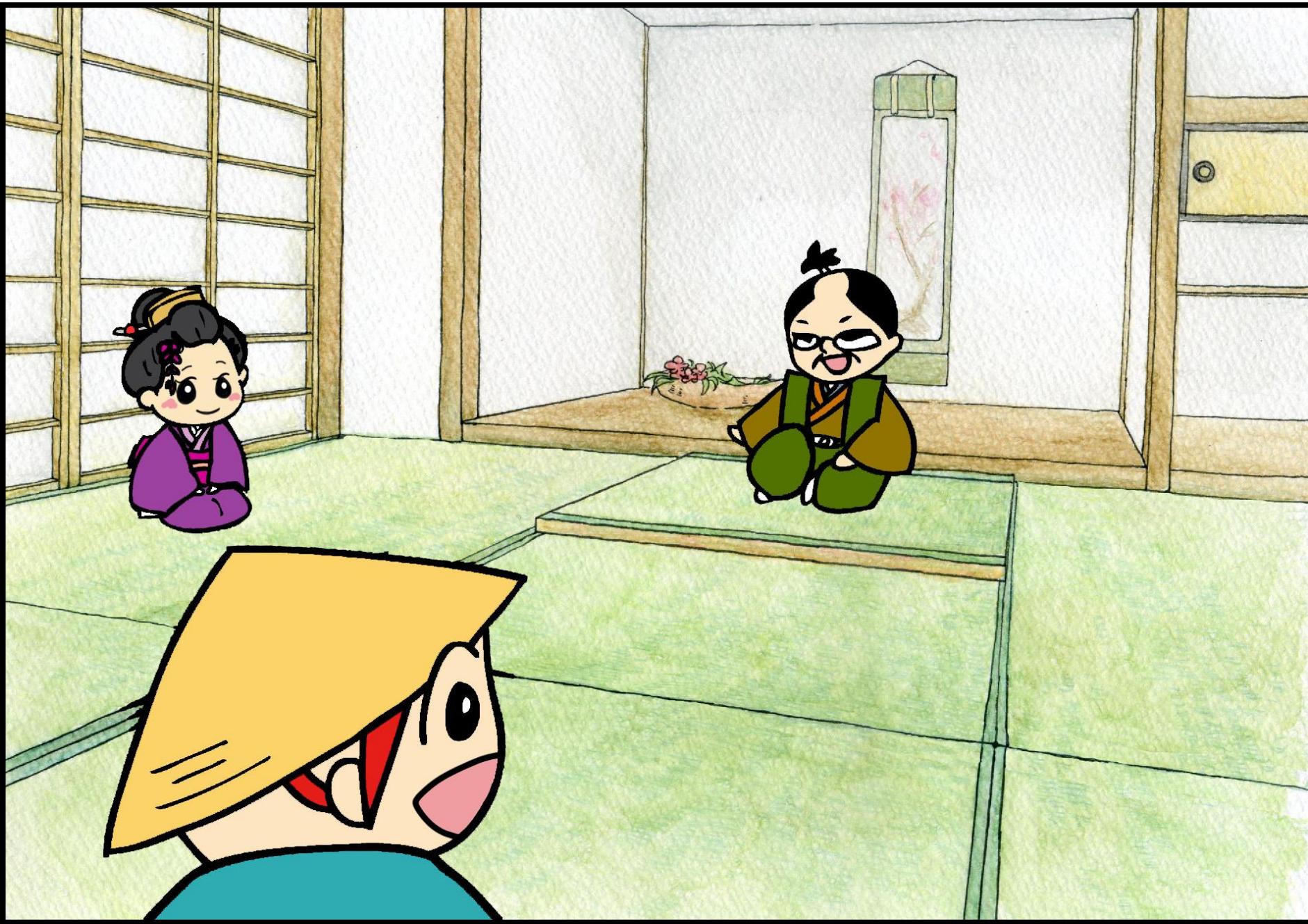
あーッ！たび丸さんだー！
お帰りなさい！



たび丸さん、久しぶり！
おかげさまで狸山は自然のままだよ。



よかったー、みんな元気にしてるな！
さあ、いよいよ殿様にご挨拶だ、
お藤も美しくなってるだろうな。





お久しううございます。
たび丸、本日戻りましてございます。



たび丸よ、よくぞ戻った！
その表情、充実した旅だったようじゃの。



そなたが留守の間も、改心してまちづくりをしてきた。
ここ草津は住みよいまちに成長したぞ。
たくさん的人がまちを行き交って賑わいにあふれておったじゃろう。
そこでじゃ、さっそくそなたに一仕事お願いしたいのじゃ。



何なりとお申し付けくださいませ！



草津を通る東海道は、江戸と京を結ぶ交通の要衝ようしゅうにあって、大名様もたくさん通られるからはたごをつくりたいのじゃ。来年の春のお祭りにはお披露目ひろめできるよう進めてくれい、よろしく頼む。



ははあ～

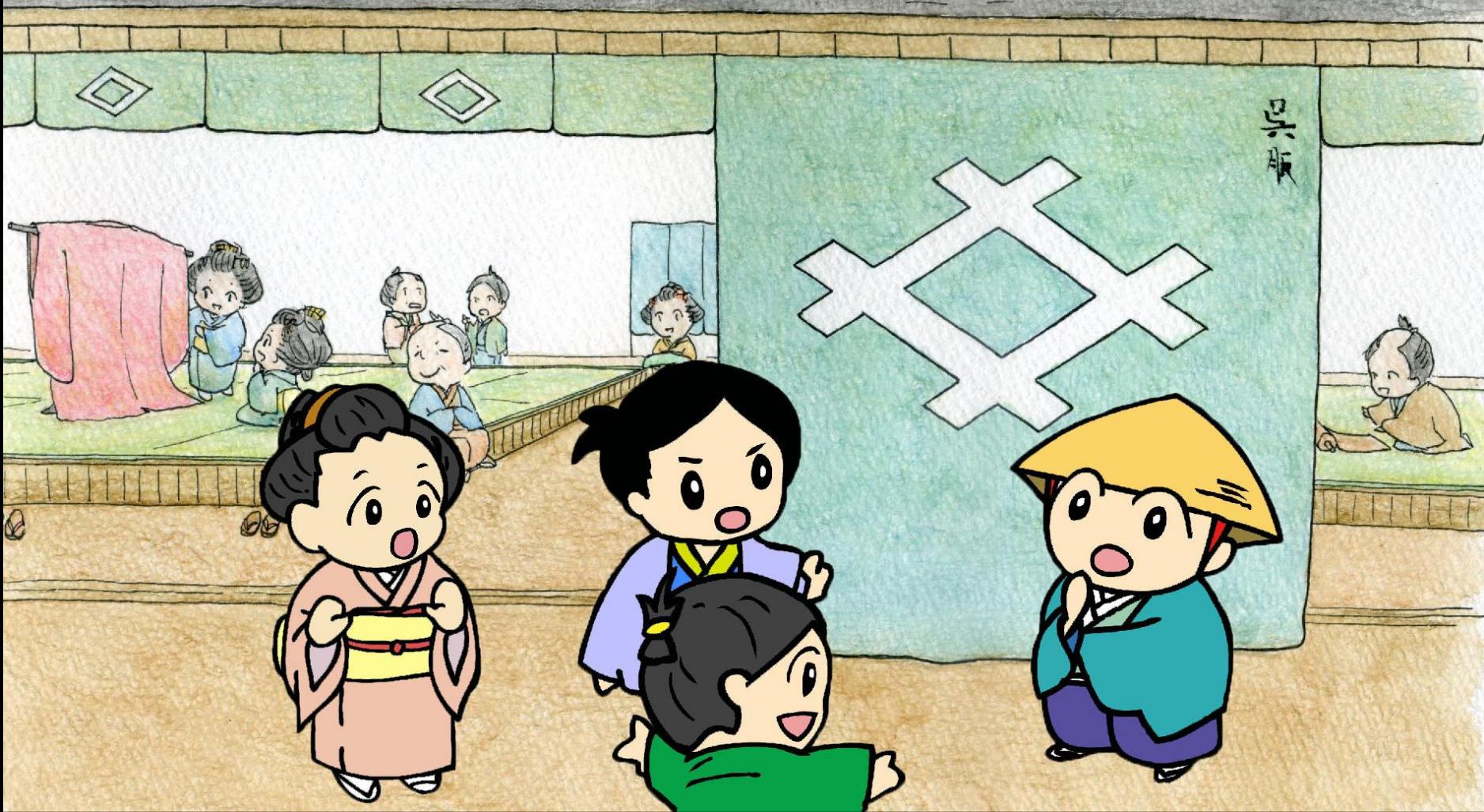


たび丸さん、またまた大役を授かったわね。
がんばって素敵なはたごをつくってね。
わたしにお手伝いできることがあれば遠慮なく言ってね。



(・・・やっぱり、お藤は美しい)
うん、期待に応えられるようにがんばるよ！

吳版





日本を代表する東海道にふさわしい町並みにしないと。



後世に残る立派な建物にしては。



う～ん、
東海道の宿場町にふさわしいはたごを作るだけでは・・・
はたごまわりの町屋も、家のつくりをそろえれば
雰囲気がよくなるかも。



つまり・・・東海道沿いのまちなみをそろえることが
大事じゃないかな。
すなわち・・・

■歴史街道軸とは

草津市には、東海道・中山道や矢橋道など、古くから残る道があります。これらの道沿いでは、そこで生活する人々の伝統や慣習から、多くの人が集まり、行き來した歴史を感じることができます。

これらの歴史的なまちなみを守り・活用していくため、草津市景観計画で、東海道、中山道および矢橋道を『歴史街道軸』とし、ルールを定めています。

具体的には、街道沿いの建物の壁や屋根の向きをそろえて、街道の歴史的景観を保全しているんだよ。街道の雰囲気に合わせて、統一したデザインの看板やのれんを付けてみるのもいいね！



【国史跡 草津宿本陣】



くさつ博士のホントの歴史

それぞれの町には、歴史や地理、産業など、さまざまな要素を核として形成され、発展してきた経緯があります。草津市の場合、もっとも大きな要素としては、江戸時代の宿場町であり、東海道と中山道の分岐・合流するところであった歴史的な核を中心に形成されているといえるでしょう。今日でも、日本で最大級といえる江戸時代の大名が休泊した草津宿本陣が現存し、その歴史的価値から国の史跡に指定されています。この本陣が機能していた江戸時代には、草津は東海道五十三次の 52 番目の宿場町であり、草津市域にあった村々は、少なからず草津宿を支え、また草津宿とともに成り立っていました。明治になると、江戸時代の宿場町を核として栗太郡の中心的地位を占め、郡役所や税務署など行政機関の集中や、交通拠点としての草津駅が開業します。その後も、近在の中心的地位と、JR 東海道線と草津線、名神高速と新名神高速のジャンクションなどの交通の要衝としての機能は、他に譲ることなく今日に至っています。

こうして発展を遂げてきた草津市ですが、宿場町であることを今日の証として受け継がれているのが、草津宿場まつりです。昭和 45 年に従来のさくらまつりを受け継ぐ形で始まった宿場まつりですが、今では多くの市民が企画に参画し、まつり当日には市内外から多くの見学者が訪れる、草津の春の風物詩になっています。

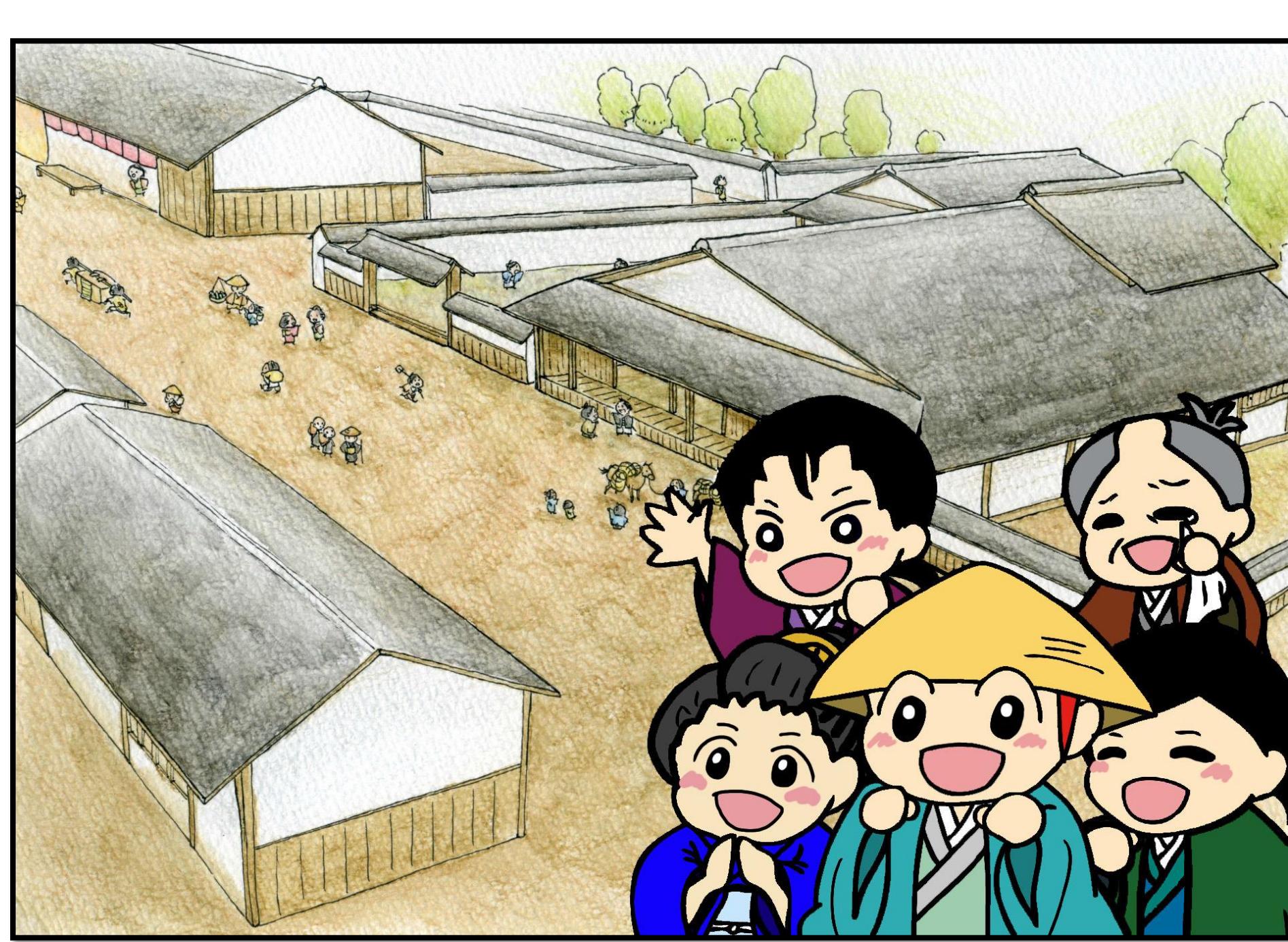




よ～し、計画ができあがってきたぞ～。
まちのみんなの意見を参考にして、
天下に誇れるはたごを作るぞ！



まちの人々の期待を一心に受け、
はたごづくりの大仕事に張り切るたび丸。
そして、いよいよ・・・





立派なはたごができたな～。
これなら、諸国の大名様もご満足されることだろう。



それに、ほかの町屋も新調されて、
おもむき
趣があふれるまちに変身したなあ。



やった～、完成したぞ～！
まちのみんなにも喜んでもらえてよかったです。
さあ、まちに待ったお祭りだ！
お世話になったみんなを呼んで楽しむぞ～！



おしまい

※ この物語は、一部フィクションであり、
実在の登場人物ではありません。